

toi-timeとは

第1回 toi-time（校内研修会） ～目指すべき生徒と教員の姿～

研修委員会

令和7年6月13日
@市立札幌藻岩高等学校

昨年度話題になっていたこと

- ・タイムリーに開催してきたことで、柔軟に研修テーマを設定することができた。
- ・一方で、「校内研修会を通して、年間でどのような学びを教職員集団の中で生み出していくのか」という見通しが持てていなかった。

反省を踏まえた今年度の方向性

- ・ **一年間の校内研修会の大枠を定め、繋がりをもった研修を実施する。**

一般的な研修会の課題

- ・ 研修会での話し合いは行われるが、「結局それが何に繋がるのか/繋がったのか」ということがよく分からないで終了してしまう。

研修委員会としての改善策

- ・ **研修会で話し合われた内容を、中間反省&年度末反省に繋げる。**

横の連携

◆教職員の連携・協働

本校の現状と課題解決の方策

(1) スクール・ポリシーを具現化する取組の推進
➔全教職員によるポリシーの理念の共有化

各部（校務分掌等）

◆全員参加・協力体制を前提とした業務推進

委員会

◆積極的な情報発信による全校協力体制の確立

toi-time（校内研修会）のミッション（目的と役割）

1

スクールポリシーに基づいた「対話」と「協働」を重んじる教職員集団になるための学びの場

2

toi-timeで話し合われた内容が本校の教育活動に組織的に還元される学びの場

新たな教師の学びの姿

1. 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自立的に学ぶという「主体性」
2. 求められる知識・技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
3. 新たな領域の専門性を身につけるなど、強みを伸ばすための、一人ひとりの教師の個性に即した「個別最適な学び」
4. **他者との対話や振り返りの機会**を確保した「社会的な学び」

多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成

1. 学校組織のレジリエンスを高めるために、**教職員集団の多様性**が必要。
2. **学校管理職のリーダーシップ**の下、**心理的安全性の確保**、教職員の多様性を配慮したマネジメントを実施
3. 教師一人ひとりの専門性を高めるとともに、**民間企業等**の勤務経験のある教師などを取り込むことで、教職員集団の多様性を一層向上させる

toi-timeとは

民間企業の支援



コエールワ

前期は**オブザーバー**として参加

後期は**外部講師の派遣**で協力